



Title	ラポルテ教授の友情：工学部の終戦秘話
Author(s)	田中, 晋輔
Citation	大阪大学史紀要. 1981, 1, p. 117-119
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/3518">https://hdl.handle.net/11094/3518</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## ラボルテ教授の友情

### ——工学部の終戦秘話——

田 中 晋 輔

されていました。これに違反した者は、占領物資隠匿罪として、重い罪の一つに問われて沖縄に収容されました。

私は秘かに沖縄行きを覚悟していました。こうした或る日、突然米国ミシガン大学のラボルテ教授が尋ねて来られました。同教授は若い頃私のいた京都大学理学部物理教室の木村教授の下で研究されました。

終戦直後のことです。私は戦時中から大阪造兵廠に関係していました。当時その研究所の一部が近鉄沿線の玉手山学院に疎開していました。終戦と同時に時の廠長某中将に会いましたところ、疎開先の設備は全部軍の秘密であって、正式帳簿には書かれていないので、全部工学部の方へ譲ると言わされました。また枚方造兵廠の土地建物も工学部で使用するようにしては如何との話がありました。工学部の施設はほとんどの全部戦災に会い、教育研究の再開はほとんど不可能の状態であります。

私は終戦後間もなく工学部長に選任されましたので、喜んでこの好意を受諾し、研究所の機器と図書を全部東野田に運び、枚方では取敢ず授業を開始したのであります。

幸いにも同教授は米軍の顧問として東京におられて阪大のことが耳に入つたのです。それすぐに来阪されたのです。そして意外にもおっしゃるのです。

「心配する事はありません。米軍が工学部を爆撃したのは全くの誤りで造兵廠を爆撃するのを目的としていたのが、誤って工学部になつたのです。米軍は教育施設を破壊するようなことは少しも考えていません。従つて造兵廠の施設であつても、これを工学部の教育に利用されることは米軍は却て望む所です。これから施設全部を占領物資から除外するように配慮します。」

私にとっては全く夢のような話と、心から感泣致しました。

その手続きには数ヶ月を要しました。その期間は、一般の占領物資として取り扱われましたので、その保管は二十四時間勤務でして、もちろん一般市民の立ち入りは厳重に禁止されていました。しかしそれ重大な問題となりました。

当時占領物資は多くの軍需工場で指定され、嚴重な保管義務を負わ

## 萬葉旅行の記録(2)

回数	名 称	年・月・日	天 候	参 加 人 員
45	藤白大崎	10・12	晴	124
46	近江大津京	11・23	快晴	197
47	播磨路内海	3・26～28	〃	131
48	飛鳥	34・4・29	〃	318
49	吉野宮滝	7・12	晴	118
50	山陰	7・20～24	快晴	129
51	初瀬安騎野	10・11	〃	180
52	真土山	11・22	〃	167
53	近江越前道	35・3・27～29	曇→快晴	93
54	山辺道	5・22	快晴	295
55	吉野宮滝	7・10	曇→晴	101
56	筑紫路	35・7・20～24	快晴	71
57	淡路	10・9	〃	315
58	二上山	11・23, 27	曇	96
59	木曾藤村旅行	36・3・25～28	雪→曇	187
60	飛鳥藤原京	5・21	曇	144
61	吉野宮滝	7・9	快晴	135
62	越中能登	7・20～24	〃	148
63	北紀伊山	10・8	〃	235
64	奈良良山	11・23	〃	219
65	瀬戸内海	37・3・26～29	〃	115
66	竜田路	5・13	〃	227
67	吉野宮滝	7・8	晴	75
68	南紀	7・22～25	快晴	103
69	山背恭仁京	10・7	〃	135
70	初瀬安騎野	11・23	〃	159
71	三河遠江	38・3・26～28	〃	84
72	飛鳥檜隈	5・26	薄曇	147
73	吉野宮滝	7・7	晴	87
74	山陰	7・22～26	快晴	169
75	紀ノ川	10・12	〃	159
76	近江大津京	11・23	〃	189
77	木曾藤村旅行	39・3・25～28	快晴→大雪	205
78	山辺道	5・17	快晴	217
79	吉野宮滝	7・12	〃	92
80	筑紫路	7・21～25	〃	98
81	淡路	10・11	〃	185
82	河内二越前	11・22	〃	132
83	近江越前	40・3・26～28	雪	93
84	飛鳥藤原京	5・23	快晴	221
85	吉野宮滝	7・11	晴	122
86	越中能登	40・7・21～25	曇・晴	125
87	藤白大崎	10・10	快晴	116
88	奈良良山	11・21	〃	166
89	瀬戸内海	41・3・26～29	快晴→小雨	100
90	竜田路	5・15	雨	247
91	吉野宮滝	7・10	晴	88
91	熊野路	7・21～24	快晴	112

P 119 へつづく

では研究と教育はできませんので、特に職員学生に徽章を作り、所持する者は自由に入り出しができるように許可を受けました。今もこの徽章は工学部に残っているはずです。これは誠に大切な記念品でありますので長く保存したいと思います。

私は以上のことはどうしても工学部関係諸兄に伝え、永久にラボルテ教授の恩恵を忘れないようにしたいと思います。これは私の義務でもあり、ラボルテ教授の友情に対するせめてもの報恩であると思っています。

皆様人間の友情というものの美しさを心から感じましょう。

三 第二次大戦後初代サイエンス・アタッシュ Sience Attaché として来日、その後も再度来日し、その間研究上の諸問題や海外留学等について多くの日本人が彼の世話をなって居り、当時の日本人にとって忘れられない恩人の一人である。  
(たなか しんすけ 大阪大学名誉教授)

オットー・ラボルト Otto Laporte

一 アーノルド・サマーフィールド Arnold Sommerfeld (独"ムンヘン大学教授) の筆頭助手をつとめ、サマーフィールドが日本を訪れた昭和三年(一九二八)にラボルテは約一年間、日本に滞在し、理化学研究所、京大物理教室で分光学の研究を行なった。

二 翌昭和四年米国に渡りミシガン大学教授となつた。分光学上の業績は数多く、中でもラボルテズ・ルール Laporte's Rule (ラボルテの規則) は有名である。

萬葉旅行の記録(3)

回数	名 称	年・月・日	天 候	参 加 人 員	回数	名 称	年・月・日	天 候	参 加 人 員
93	山背恭仁京	10・9	〃	151	129	高 円 山	10・14	晴	149
94	初瀬安騎野	11・20	〃	192	130	近江蒲生野	11・23	〃	196
95	木曾藤村旅行	42・3・25～28	快晴→雨→晴	171	131	磐余飛鳥	49・5・19	〃	164
96	山 辺 道	5・14	快晴	199	*	山 辺 道	6・9	快晴	28
97	吉 野 宮 滝	7・9, 11	曇	62	132	吉 野 宮 滝	6・30	雨	105
98	山 險	7・19～24	快晴	153	133	越 中 能 登	7・29～31	晴	162
99	近江大津京	10・8	〃	215	134	淡 路	11・10	快晴	133
100	飛 鳥	11・19	曇・小雨	455	135	初瀬安騎野	12・1	晴	178
101	近 江 越 前	43・3・21～24	晴	113	136	大 和 三 山	50・5・11	〃	207
102	奈 良 山	5・12	小雨	254	137	吉 野 宮 滝	7・13	〃	125
103	吉 野 宮 滝	6・30	晴	152	138	熊 野 路	7・29～8・1	快晴	113
104	筑 紫 路	7・22～27	快晴	121	139	近江大津京	10・26	〃	145
105	淡 路	10・10	晴	121	140	二 上 山	50・11・30	晴	128
106	二 上 山	11・23	快晴	221	141	飛 鳥	51・5・9	快晴	198
107	吉 野 宮 滝	44・6・29	晴	77	142	吉 野 宮 滝	7・11	曇	102
108	壱岐・対馬	8・7～13	快晴	54	143	筑 紫 路	8・2～6	晴	116
109	山 辺 道	10・19	〃	114	144	竜 田 路	10・24	〃	125
110	初瀬安騎野	11・23	〃	110	145	高 円 山	11・28	〃	118
111	大 和 三 山	45・1・25	〃	241	146	山 辺 道	52・5・8	快晴	201
112	木曾藤村旅行 さわらび組 わかかな組	3・20～23 4・3～6	晴→雪 雨→晴	229 160	147	吉 野 宮 滝	7・10	晴	122
犬養先生停年退官				第1回～第112回 小計 18,392	148	山 險	8・1～5	快晴	123
113	山 辺 道	45・6・7	快晴	352	149	初瀬安騎野	10・2	〃	119
114	吉 野 宮 滝	7・12	晴	235	150	飛 鳥	11・23	〃	301
115	山 險	8・10～15	快晴	117	151	多 武 峰 飛 鳥	53・5・11	晴	273
116	二 上 山	11・23	〃	352	152	吉 野 宮 滝	7・9	晴・雷雨	175
117	飛 鳥 檜 限	46・5・9	〃	175	153	越 中 能 登	8・1～3	快晴	108
118	近江大津京	5・16	晴	375	154	淡 路	10・22	〃	168
119	吉 野 宮 滝	7・11	快晴	285	155	近江蒲生路	11・23	〃	208
120	越 路	8・3～6	〃	142	156	大 和 三 山	54・4・23	〃	296
121	初瀬安騎野	10・31	小雨	146	157	吉 野 宮 滝	7・8	小雨	197
122	淡 路	11・23	晴	324	158	壱岐・対馬	8・1～5	快晴	163
123	多 武 峰 飛 鳥	47・7・2	〃	292	159	高 円 山	10・21	晴	228
124	筑 紫 路	7・31～8・5	快晴	122	160	巨 勢 真 土 山	11・18	小雨	141
125	山背恭仁京	11・12	〃	114	161	湖 北 越 前	55・3・20～21	快晴	151
126	北紀伊大崎	11・26	〃	251	162	山 辺 道	4・27	曇	372
127	山 辺 道	48・5・13	〃	258	163	吉 野 宮 滝	7・6	〃	163
* 吉 野 宮 滝	6・24	晴	188	164	熊 野 路	7・30～8・2	小雨→快晴	141	
* 真 土 山	7・16	〃	29	165	近江大津京	10・12	曇	216	
128	山 險	7・29～8・2	晴→雨	113	166	下 津 大 崎	11・16	〃	224
第1回～第166回 計 28,844									

P 47, 110, 118 よりつづく